

2020年度 自己評価報告書

大阪ベルエベルビューティ&ブライダル 専門学校

評価対象期間:2020年4月1日～2021年3月31日

2021年4月1日現在

評価	
4	適切
3	ほぼ適切
2	やや不適切
1	不適切

目次

1. 学校の教育目標

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

(2) 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動

- 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
- 関連分野における実践的な職業教育(インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか
- 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか
- 職員の能力開発のための研修等が行われているか

(4) 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

(5) 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適正に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

(6) 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受け入れ募集

- 学生募集活動は、適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

(8) 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守

- 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する開講講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

1. 学園・学校の教育目標等

【学園理念】

ロイヤル学園に関わる全ての人へ教育を通じて感動を提供し、社会へ貢献する。

【学園コンセプト】

本気を生み出し、幸せを広げる。

【ビジョン】

日本で一番、素晴らしい美容とブライダルの教育をする専門学校を目指す。

【教育目標】

ミライ創造の旗手であれ

【ミッション】

最高の教育と顧客サービスによって、我々に関わる全ての人の幸福を実現する。

【バリュー】

- ① 相手の幸せを追求することにより、自らの幸せを手に入れる
- ② 崇高な仕事に誇りと責任を持ち、常に自己を磨き続ける。
- ③ 変化を恐れず、変化を受け入れ、変化を楽しみ、常に進歩する。

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価
(1)-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.8
(1)-2	学校における職業教育の特色は何か	3.6
(1)-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.6
(1)-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.4
(1)-5	各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.5
A.取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>今年度においても理念等に関する勉強会・社内報を実施。学園理念等を全教職員が理解し、専門学校として目指すべき姿を正しく認識できるよう研修会等も実施した。</p> <p>コロナ禍となった今年度においてはオンラインでの勉強会となることもあったが、レポートという形で教職員個々の理解を深め、理念の共通認識を行えている。</p> <p>HP・パンフレットにおいても、学生、保護者に学校の紹介ではなく、理念そして将来どういった道があるのか等、明確に示している。</p> <p>生徒卒業時のあるべき姿を表わしたルーブリック評価を導入。</p> <p>又、5年後の理想とする姿を明確化し、即活躍できる人材を輩出すべく実践教育に注力し業界離職の低減に努めている。</p>		

(2) 学校運営

	評価項目	評価
(2)-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9
(2)-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.9
(2)-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.4
(2)-4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	3.8
(2)-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.5
(2)-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.3
(2)-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.8
(2)-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.6
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>今年度の方針、計画を全教職員に対して研修会を実施。学園の理念や目的を明確にし、そこに向けての運営方針に基づいて計画を立て、その通り授業及び行事等の実行にあたるよう学校運営を行った。各専門部署を配置し情報集約・伝達・連携され、明確な意思決定が教職員に速やかに行われるべく規則・マニュアル等の整備もできている。</p> <p>2020年度においては新型コロナウイルスという不測の事態もあり、授業の進行や行事において当初予定していたものとの変更もあったが、生徒の安心安全を第一に、技術知識の習得において臨機応変に対応できた。</p> <p>2021年度においては反省点等も活かし、コロナ禍においても2020年度より良い教育を提供していく。教育活動やその他情報等もHPに公開し、パンフレットにも記載している。</p> <p>システム面においては、2020年度新システム導入等を行い、業務効率化を図った。</p>		

(3) 教育活動

	評価項目	評価
(3)-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.8
(3)-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.7
(3)-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.7
(3)-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.6
(3)-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.2
(3)-6	関連分野における実践的な職業教育(インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.2
(3)-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.7
(3)-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.2
(3)-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.0
(3)-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.9
(3)-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.1
(3)-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3.1
(3)-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3.3
(3)-14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.6
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>新型コロナウイルスの影響により、年度当初は混乱があったものの、オンライン授業等の体制も整備ができた。ただし、今後こういった状況が続く中で予測が難しい点もあるので、更なる危機予測を行い整備が必要だということも改めて認識した。</p> <p>時代や業界のニーズに即した課程を実施し、内容に即した学習時間や科目、生徒のレベル等を考慮し明確にしている。学科における資格や技術を持った専任教員を必要数確保している。学園全体で各専門教員勉強会を毎月一回実施し教育の質の向上に努めている。学園独自の取り組みである新人教員対象の教員資質検定等を行い資質の上昇を図っている。</p> <p>今後オンライン授業の実施等も念頭に置いた教員の教育力向上が求められる。その点も踏まえた教育を行う必要がある。</p>		

(4) 学修成果

	評価項目	評価
(4)-1	就職率の向上が図られているか	3.9
(4)-2	資格取得率の向上が図られているか	3.6
(4)-3	退学率の低減が図られているか	3.7
(4)-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.8
(4)-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.4
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>教職員がサロンや外部企業、OBOGやサロンオーナー等と連携しミスマッチを防ぎ就職後の離職率低減に力を入れている。 就職専任の職員の配置も行い、就職率だけではなく卒業後生徒が離職をしないよう、教育を行っている。 卒業後の離職調査も行い、フォローは勿論のことヒアリングを行いその原因・理由を洗い出し、在校生の就職教育に役立てている。 国家資格や必要資格を目標に、生徒への個別指導等の対策を実施し資格取得率の向上に努めている。 また、出席率等に応じて個別面談を行い保護者や心理カウンセラーとも連携しながら退学率の低減を図っている。前年度に比べ退学率については低減している。</p>		

(5) 学生支援

	評価項目	評価
(5)-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4.0
(5)-2	学生相談に関する体制は整備されているか	3.5
(5)-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.5
(5)-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.1
(5)-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.5
(5)-6	学生の生活環境への支援は行われているか	3.2
(5)-7	保護者と適切に連携しているか	3.5
(5)-8	卒業生への支援体制はあるか	4.0
(5)-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.0
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>「(4) 学修成果」にも記述の通り、進路・就職に関する専門部署を配置し企業との連携、学生への適切な進路指導を行っている。</p> <p>学生に対する経済的支援に関して、学園独自のミライ応援基金を設立し、一人暮らしを行う生徒への経済的支援、家庭内での経済状況に応じて授業料の一部免除を行う経済支援を実施している。</p> <p>卒業生への支援に関しては、他企業と連携し再就職へのアドバイス、又、現況の勤務状況を定期的に確認している。その結果を踏まえ、在校生の就職教育に活かし卒業後離職の低減を図っている。</p> <p>学生生活に関しても担任による面談やカウンセラーの配置、健康診断の実施等、生徒が安心して過ごせるよう整備を行っている。</p> <p>今後、コロナ禍での就職活動について新たな就職活動の在り方においても踏まえた上で、生徒の指導に当たる必要がある。</p>		

(6) 教育環境

	評価項目	評価
(6)-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.5
(6)-2	学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.5
(6)-3	防災に対する体制は整備されているか	3.1
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>施設設備においては、2020年度のコロナ禍においてオンライン授業等、これまで実施していなかった教育方法をとるにあたり、その環境整備を行った。不測の事態ではあるが、今後同様の事態があった際混乱を来さぬよう更なる施設・設備の整備が必要である。</p> <p>学外においての実習施設の確保等、臨機応変に対応できた。</p> <p>防災に関しては安心・安全な環境を維持する為、法令に基づいた点検の実施、及び学園内にて施設管理の専門部署を確立し随時確認、修理を行い安心・安全な環境維持に注力している。</p> <p>地震や火災に対する避難訓練の実施や備蓄品の設置でグループ校への支援等の体制も整えている。</p>		

(7) 学生の受け入れ募集

	評価項目	評価
(7)-1	学生募集活動は、適正に行われているか	3.8
(7)-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.8
(7)-3	学納金は妥当なものとなっているか	4.0
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
<p>学生募集の専門部署、及び学校教職員が連携をとり学生募集に関する対応を行っている。</p> <p>コロナ禍においてオープンキャンパス等、実施が減少することも予測し、今後オンラインでのオープンキャンパス等を検討。</p> <p>それぞれの学科における教育成果の説明を学校パンフレット、学校見学時に実行している。</p>		

(8) 財務

	評価項目	評価
(8)-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.5
(8)-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.5
(8)-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
(8)-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4.0
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
生徒数確保により財政基盤は安定しているといえ、予算・収支計画、会計監査は適正であり、財務情報についてもHPにて公表を行っている。		

(9) 法令等の遵守

	評価項目	評価
(9)-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0
(9)-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.0
(9)-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.5
(9)-4	自己評価結果を公開しているか	4.0
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
法を遵守した学校運営が為されている。 個人情報についてもシステムパスワード等により適正に行っている。 自己評価実施により問題点を抽出し改善を行っており、結果に関してもHPで公表を行っている。		

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
(10)ー1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.3
(10)ー2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.8
(10)ー3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3.0
A. 取り組み・課題・今後の改善方策		
コロナ禍において地域・企業イベント等に関しては生徒の安心安全な教育体制を行う上で減少している。 今後に関しても、生徒の健康管理及び社会情勢を踏まえ、臨機応変に対応をする。		

2020年度 大阪ベルエベルビューティ&ブライダル専門学校

学校関係者評価報告書

大阪ベルエベル美容専門学校 学校関係者評価委員会は、2020年度 自己評価報告書に基づき、学校関係者評価を実施し致しましたので、その結果を次の通り報告致します。

開催日時 2021年5月26日13時00分

会場 統括センター会議室

学校関係者評価委員会 委員

委員
・株式会社ロイヤル
・滝川株式会社
・株式会社賑屋

橋本 大地
菅野 政信
山中 扇

出席委員
・株式会社ロイヤル
・滝川株式会社
・株式会社賑屋

橋本 大地
菅野 政信
山中 扇

～各評価基準の学校関係者評価・意見～

●基準1 教育理念・目標

評価者意見

- ・教職員一丸となり、理念・目標を全教職員が正しく理解するよう、昨年と同様に勉強会、研修会等を実施していたとの事。
コロナ禍において人との接触が制限される中、感染防止対策を行いながらオンラインでの実施等試行錯誤されているのが伺える。
- ・2020年度においてもHPやパンフレット等において、理念・目標や教育内容卒業後の将来像が分かりやすいよう卒業生のインタビュー等を掲載しており学生や保護者に内容の周知がなされているように思われる。

●基準2 学校運営

評価者意見

- ・目的、運営方針に沿った計画を策定出来ているように思われる。
2020年度、新型コロナウイルスという不測の事態により、計画の変更も多くあったが、オンライン授業等臨機応変に対応されていると感じる。
今後これまでと違った教育環境が専門学校にもより求められることを想定し、2020年度の経験を活かし、より安心安全に生徒が学べる環境を整備して頂きたい。

●基準3 教育活動

評価者意見

- ・実践教育、職業教育を実施する専門学校においては、オンラインでの授業の増加に伴い、教育環境の整備だけではなく授業の内容や生徒の学習進捗具合等はこれまで以上に気を配らなければならない点であると思われる。
昨年からの授業内容等を拝見させて頂き、これまで同様の教育が行われておりましたが、2021年度においてはそれ以上のものを求められるかと思えます。
勉強会等ではその点も考慮した内容を行い、より高い教育の質、教員力の向上を目指して頂きたい。

●基準4 学修成果

評価者意見

- ・就職率、退学率ともに改善が見られ、フォロー体制も充実しているように見受けられる。
退学率については学科でのばらつきを無くし、2021年度においても2020年度よりよい結果を期待します。

●基準5 学生支援

評価者意見

- ・卒業生に対しても積極的にコンタクトを取り、理念に沿った動きをされているように感じます。
- ・学生相談に関する体制はカウンセラーや教員、就職専門職員等、それぞれの案件で相談先が多数あり、生徒も安心して学校生活を送れるのではないかとと思う。
- ・健康管理については新型コロナウイルスでの感染症対策(サーマルカメラの設置、フェイスシールド配布、消毒薬、アクリル板設置等)もされている。

●基準6 教育環境

評価者意見

- ・教育環境の整備として施設・設備においては、コロナ対策だけではなく、整っていると思われる。
毎年度見直しを行い、より良い教育環境での生徒育成を目指しておられることが伺える。
- ・防災に関しても昨年度から引き続き、ロイヤル学園設置校が連携して行う体制があり、生徒が安心して教育を受けられる環境を作られていると感じる。
2021年度にもいともしっかりとしたリスクマネジメントをより大きな枠で考えて頂きたい。

●基準7 学生の受け入れ募集

評価者意見

- ・コロナ禍において学生募集に関してはオープンキャンパスの開催を満足できない時期があった中、出願者数の目標を達成しておられる。
2021年度においても同様の事態を予測しオンラインでのオープンキャンパス等を検討されており、目標達成が期待できる。

●基準8 財務

評価者意見

- ・昨年と同様に適切であると見受けられる。

●基準9 法令等の遵守

評価者意見

- ・自己評価の実施及び昨年結果からの改善に向けて対策を取っておられるように見受けられる。
今後2020年度のコロナ禍での経験等を踏まえ、より安心安全な教育環境づくりに注力して頂きたい。

●基準10 社会貢献・地域貢献

評価者意見

- ・コロナ禍においてボランティア、イベント等については、中止や延期等により減少しているが、企業や地域社会との繋がりは保ち情報交換を行えていると思います。
生徒にとっては学生時代に社会との繋がりを体感できる貴重な機会であるため、安心して参加できるような環境づくりをして頂きたい。